

令和3年度第2回人権教育学級

日時 : 令和3年 7月 8日 (木) 10:00~11:30

場所 : 別府市役所 5F 大会議室

テーマ : 性的少数者と人権

LGBTの誤解とセクシュアリティの理解

～子どもをひとりぼっちにさせないために～

講師 : SOGIEサポートチームココカラ! 共同代表

NPO法人Teto Company 理事長

奥 結香 さん

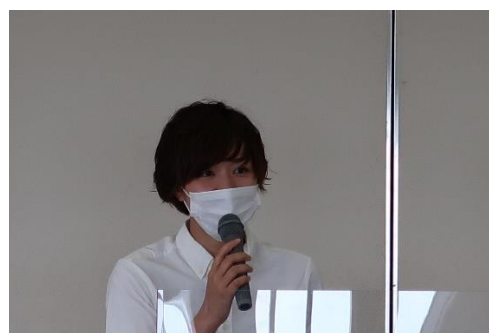
講演内容

自己紹介

趣味・・・

- ・ 介護福祉士
- ・ NPO 法人勤務
- ・ 特別支援学校教諭

- ・ 青年海外協力隊(マレーシア)



<講師の奥 結香 さん>

<VISION>

ひとりぼっちをつくらない地域・社会を創る

性的少数者
の交流会や
啓発活動

地域の集い場
「みんなのいえ
カラフル」

放課後等デイ
サービス
アソビバ
Teto

福祉×アート
みんなでアート

SOGIE (LGBT) サポートチームココカラ!の活動

- ・学校／職場／公共の場でセクシュアリティに関する講演活動
- ・「ここ×から一歩カフェ」の実施(2か月に1回)
セクシュアルマイノリティ当事者が繋がる会の実施
- ・セクシュアリティに関する相談
- ・2018年9月2日～10日「大分のセクシュアルマイノリティの方に対するアンケート調査」(有効回答145件)
- ・2018年11月 県知事へ要望書提出

<活動のきっかけ・背景>

- 「LGBTの人に出会ったことがない」という声
- 友人のSNSの投稿より

LGBTの研修に行くことになりました。当事者が高松から来てくれるから、貴重な体験だよ！と上司に勧められました。・・・当事者、ここにいますけど？身の回りにいるとは思ってないあたりが、まだまだだな、と思いました。

「いる」とはいえない現状がある。



だから、身近に感じるができない。
(見た目ではわからない)

今日の内容

- LGBTの誤解とセクシュアリティの理解
- 性的少数者って一体誰？
- 性的少数者の困りごとや悩み事
- 当事者のひとりとして

1 「LGBT」の誤解とセクシュアリティの理解

LGBTって何？

- L(Lesbian):女性として女性が好きな人のこと
- G(Gay):男性として男性が好きな人のこと
- B(Bisexual):同性も異性も好きになる人のこと
- T(Transgender):出生時に割り当てられた性別と別の性で生きる人・生きたいと思っている人

※一般的にはこう思われている。

LGBTとは性的少数者(セクシュアルマイノリティ)の総称の一つ

セクシュアルマイノリティ（性的少数者）全般

パンセクシュアル(全性愛)	相手の性別・セクシュアリティにこだわらない
A セクシュアル	他者に対して恋愛感情や性的欲求を抱かない
ノンセクシュアル	恋愛感情はあるが性的欲求を抱かない
X ジェンダー	性自認が男女のどちらでもない
クエスチョニング (Questioning)	自身のセクシュアリティがわからない／不定形
性分化疾患(Disorder of Sex Development)	染色体、生殖腺、もしくは解剖学的に性の発達が「先天的に非定型的である状態」を指す医学用語。

※これでも全てではなく一部

異性愛者→ヘテロセクシュアル

性自認と生物学的性が一致→シスジェンダー

セクシュアリティとは？

セクシュアリティ (Sexuality) →人間の性のあり方全般を指す言葉

<セクシュアリティを構成する要素>

- 生物学的な性的特徴 (Sex Characteristics) 【性染色体・性腺(生殖腺)・内性器・外性器】
- 性自認(Gender Identity) 【自認する自分自身の性】
- 社会的性(Gender)
 - 【歴史的・文化的・社会的に形成される性】
 - 【性表現(Gender patterns)→服装・髪型・言葉遣い・しぐさ・名前など】
 - 【性役割(Gender roll)→職業・家事・育児など性別によって期待される役割】
- 性的指向(Sexual Orientation) 【恋愛感情や性的欲求を抱く性の対象の方向性】
- 恋愛感情の程度
- 性的欲求の度合い

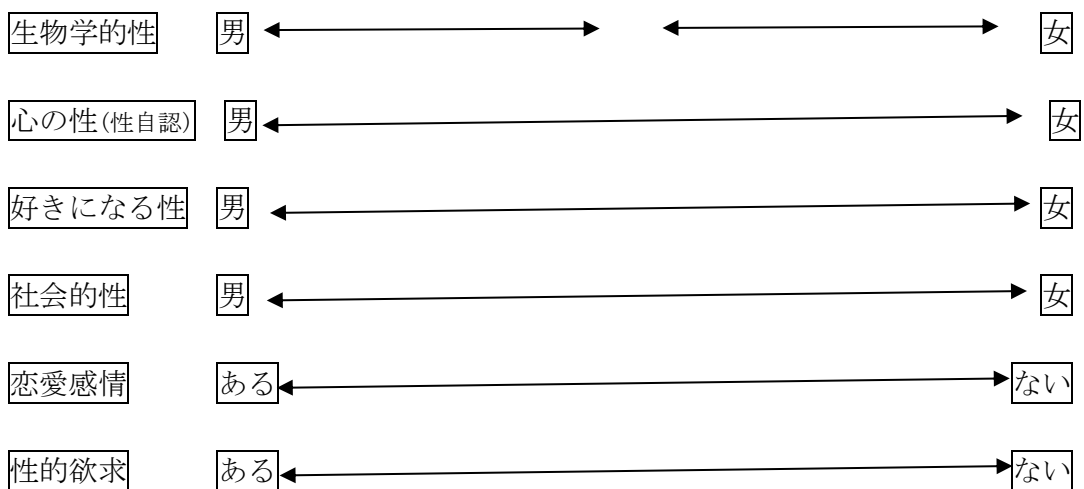
セクシュアリティを構成する4つの要素(6つ) ※セクシュアリティの一つの考え方





<熱心に話を聞く受講者>

性のものさし



◇マツコ・デラックスさんのコメント、性のあり方を性のものさしで表示する。

◇「おねえタレント」と呼ばれる人たちの性は？



性のあり方はひとりひとり違う



自分のセクシュアリティを考えよう。

2 性的少数者って一体誰？

(1) 既成の性(男・女)に関する考え方によって成り立つ社会

「性別」生物学的性 ⇔ 性別役割分業 ⇔ 婚姻制度、家制度
 「性別二元論」 「異性愛規範」 「性別二元制」

(2) 性別二元制の社会システムに順応できない人

「性別」生物学的性 ⇔ 性別役割分業 ⇔ 婚姻制度、家制度
 「性別二元論」 「異性愛規範」 「性別二元制」

多様な性は「ないもの」 堂々と生活できない 結婚制度は使えない

問題はどこにある？

◇車いすの女性が入口に階段のあるお店に入ろうとしている挿絵を提示し、問題はどこにあるのか考える。

この問題を考えていく中で、社会には、いろいろな障害があるけれど・・・

セクシュアルマイノリティであること自体は何も問題ではない

ということを確認する。

3 性的少数者の困りごとや悩み事

セクシュアルマイノリティ(性的少数者)は、どんなことに困るのか。



一人一人違うので、一概には言えない。

性自認(トランスジェンダー)

- ・(性別変更していない場合)法律上の性別と外見が異なる
- ・トイレや着替え(制服)をどうするか悩む
- ・人は外見(性別)で判断するので常に男女の二者択一を迫られる
- ・就職先が見つかりにくい。
- ・幼少時代→相談場所やコミュニティがない(地方は特に)

トランスジェンダーが10人集まれば10人とも違う。

Aさん:手術はしない。

Bさん:名前だけ変えたい。

Cさん:手術は必要ないけど、書類上の性別は変えたい。

Dさん:手術をして書類上の性別も変えたい。

トランス
ジェンダー
のEさん

●性別変更の条件

1. 20歳以上であること
2. 現に婚姻をしていないこと
3. 未成年の子がいないこと
4. 生殖腺がないこと又は生殖腺の機能を永続的に欠く状態にあること(内性器摘出)
5. その体について他の性別に係る部分に近似する外観を備えていること(外性器形成)

今後、国際疾病の分類では、「性同一性障がい」の障がいということはなくなる。

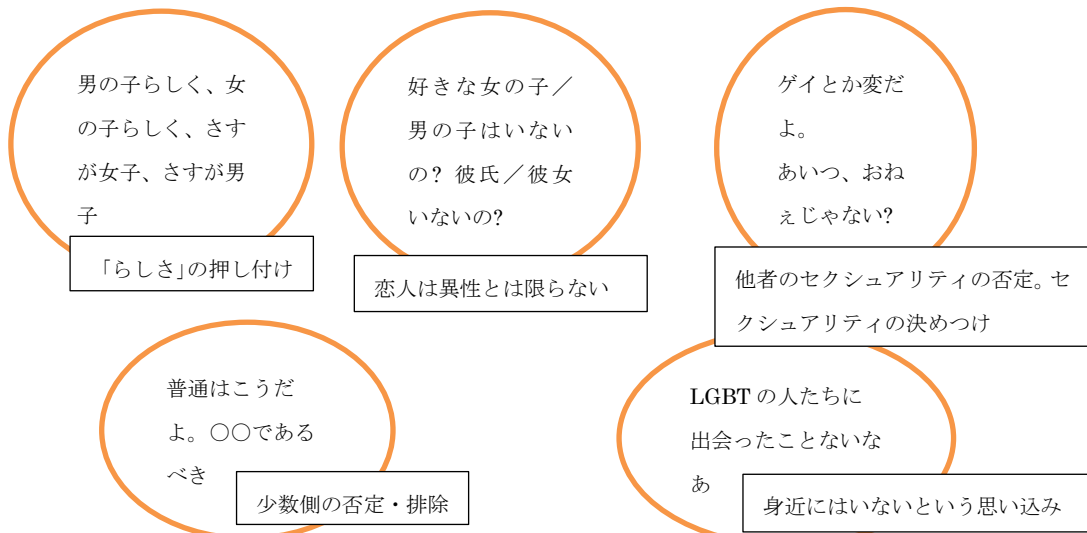
性的指向

- ・異性愛を前提とした社会での会話に入れない。
- ・カミングアウトした場合、「気持ち悪い」と思われる恐怖(単なる趣味だと思われる)
- ・同性同士を想定していない婚姻制度が使えない
- ・住居の契約や緊急時に家族として対応できるかなどの不安
- ・配偶者控除などの税制優遇や社内規定の手当てなどが対象外
親に言えないという人も多い。

<パートナーシップ制度>

- ・男女間の婚姻制度とは異なる。
- ・公的な支援が受けられるものではないが、民間企業が行っているパートナー間の割引やサービスを受けることができるようになる。
交付件数 1,741組 (2021年3月31日時点)
導入自治体 103自治体 (2021年4月1日時点)人口カバー率:37.1%
県内では、臼杵市がパートナーシップ宣誓制度を初導入
同性婚の事例(結婚式の写真提示)→ 固定観念で見ると違和感があるかもしれないが、慣れることが大事。

こんな決めつけの言葉で傷つくことも・・・



それぞれ困りごとは違うが、社会の「当たり前」「普通」に苦勞する点は同じ
「社会の課題」は「社会受容」の問題

◇大分のセクシュアルマイノリティの方に対するアンケート調査の結果

(2018年9月2日～10日実施) 有効回答 145件

困りごと

- ・カミングアウト 61%
- ・家族や親族との関係 52%
- ・出会い 47%
- ・友人関係 47%
- ・将来の見通し 44%

・・・など多くの困りごとが示される。

<困りごと・・・当事者の声>

- ・書類に出生時の性別が書かれていて、それを目にするだけで、どんどん精神が壊れていく感じ。
- ・外出先、会社、どこに行っても「あの人は男？女？」という言葉や対応、視線にさらされ、常にストレスを感じている。
- ・苦しくて自殺を図った。

- ・自分のセクシュアリティをバラすと半年間脅されたこと。相手と自分の共通の SNS のユーザーから自分の写真を手に入れられてしまった。

<当事者の気持ち>

- ・男性の役割、女性の役割と分けられて、その役割が満たせる人は良い男、良い女で、そうでなければダメだという社会の概念自体がとてもプレッシャーで、自分はこれで良いと思っていなくても社会的にはダメな人間なんだと落ち込みます。
- ・一人の人間として毎日頑張っている枠にはまらない人たちのことも認めてくれるような町になってほしい。そのためには、まず性別記載欄などを省くなど、不必要に性別で判断するような仕組みをなくして行ってほしいと思います。
- ・からかいや変なうわさ話を広めることが一人の人間の心を潰すことを知ってもらいたい。私たちは昔も今も当たり前存在していること、誰でもひよんなことで同性を好きになることがあるのだと気づいてもらいたい。そのために、学校での教育や職場での講演できちんとした知識を広めてもらいたい。
- ・当事者たちが、私のように「自分らしく生きるために大分を出る」という意思決定をせずにすむ街にしてください。

「SOG I (E)」とは、・・・

S O = セクシュアルオリエンテーション (好きになる相手の性【性的指向】)

G I = ジェンダーアイデンティティ (自分の性別の認識【性自認】)

誰もが持っている SOG I (=性的指向や性自認)にかかわらず、全ての人が平等に扱われるようにしましょう。

SOG I ハラスメントとは? ⇒ 性的指向・性自認に関するハラスメント

なくそう! SOG I ハラ

【社会の動き】

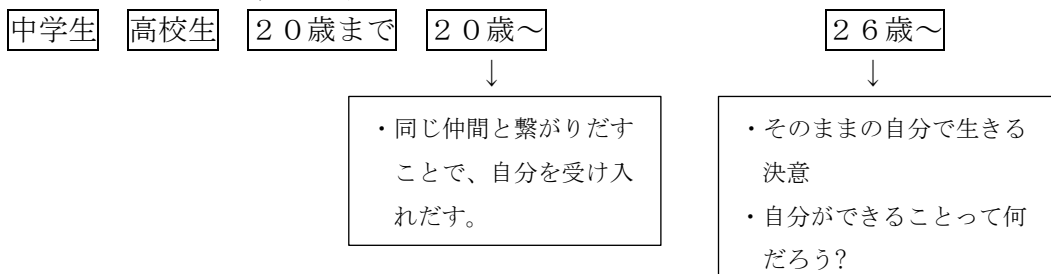
- 2019年5月29日、職場でのパワーハラスメントを防ぐため、企業に防止策を義務づける労働施策総合推進法の改正案が参院本会議で可決、成立。SOG I ハラスメント及びアウティングの防止も含まれる。2020年6月の「改正労働施策総合推進法」スタート。義務化→大企業は6月から。中小企業が2022年4月の見通し。

【学校現場】

- 2016年に「性同一性障害や性的指向・性的自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について」という教職員向けパンフレットを公表。2020年4月からは小学校の教科書にも性的マイノリティに関する記述が載っている。

4 当事者のひとりとして

・結婚して幸せな家庭を築き、子どもを産みたかったけれど・・・



カミングアウト⇒私＝レズビアンになる。 親とは、10年かけて話してきた。

まとめ

- ・セクシュアリティも、その人の中にある一要素でしかない。
- ・その一要素によって、自分の人生を歩めなくなり自殺する人、苦しんでいる人・悩んでいる人がいる。
- ・セクシュアリティは一人一人ちがうもので性的指向や性自認は多様。その多様性の中に誰もががいるという視点をもつことが大事。

当事者も非当事者も本当はないということを伝えていきたい。どんな人も自分らしく生きていく権利がある。

今日からできること

- 一人一人が自分自身のセクシュアリティについて考える。学習する機会が必要。
→「一人一人ちがう」ということを知らなければ「差別・偏見」はなくなる
ない。「LGBTは別物」と捉えている限り、現状は変わらない。
- 「いたらどうするか」ではなく「いる前提」で考える。→自分の周りにはいない
と思う。＝「いる」と言えない環境
- あらゆる可能性を認め合う。
→セクシュアリティだけに限らず、多様性を認め合うことは、誰にとっても生き
やすい社会になる。まずは、自分を振り返る。目の前の人と向き合うことか
ら。

人は、人のことを「あの人は変、あの人は悪い」と、指をさす。気づいてほ
しいのは指している指先にあるものではなくて、自分に向かっている指の先の
自分。そのことに気づいたら、もっとやさしい社会になるのではないかと思っ
ている。



<講演のあと、質問する受講者>

<質疑・応答>

○質問 ■回答

○トランスジェンダーではないかと思われる生徒がいて、本人も悩んでいるということがある。敢えて触れちゃいけないのか、その子への対応に悩むことがある。その子や保護者に受け入れやすくなるであろう方法みたいなものがあれば教えてほしい。

■その子がトランスジェンダーかもしれないと思っても、直接、その子にきくということとはしないでほしい。その子が「言いたい」という気持ちになっていないと、言われた時にうそをつかなくちゃいけない状況をつくってしまう可能性がある。その子が、何らかの方法で、「そういうことで差別されることがある」ということを知ってしまうと、返って言えないということにもなる。まずは、雰囲気づくりが大事。あなたはあなたのままでいいという雰囲気をつくったり、関連する本を家に置いたりするとか、方法はある。「この人だったら言ってもいいな」と思われるような雰囲気づくりをしてほしい。

保護者への対応としては、いろんなお子さんがある中で、その子はその子でいいんじゃないか、その子がその子らしく生きられるよう応援していきましょう、という雰囲気になると一番いいと思う。

○今日の講義はとても勉強になり、いいお話が聞けてよかったです。

子どもは、時に残酷だったりします。自分や自分たちとちがう子がクラスに1人でもいると集中して攻撃したり、いじめたりするということになります。そんなことが起こらないようにするためにはどうしたらよいのでしょうか。

■いじめが起きないためには、教室の雰囲気づくり、学校としての役割が大事だと思います。からかいの言葉があった時に、クラスの先生が、「何が悪いの？何がおかしいの？」と、絶対その人を守るという雰囲気をつくるのが大事。また、家庭の中でいろんな姿を見せる子どもに、「あなたを愛しているよ」という気持ちが伝わっていたら、子ども自身も他の子のいろんな姿を見て「その人は、その人だから」と、自然に思えるようになる。「あなたが大好きだよ」という安心感、大人に対する信頼感を積み重ねることが大事。

最後に

- 自分は、親に理解してほしかったという思いがあったが、自分の子どもに打ち明けられた時にすんなり受け入れられる場合とそうではない場合がある。その時に、受け入れられない自分はだめだと思わないでほしい。親も人間なので、受け入れる・受け入れられないといろいろある。自分一人で悩まないでほしい。